学校番号	3017

令和８年度　美術科

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	美術１　（光村出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・周囲と自分の関わりや新たな気づきが表現につながることに留意しながら学習を進めます。
・表現の活動では、主題生成の能力・創造物に構想する能力・材料や用具の特性を活かし創意工夫して表す技能を育成する学習を行います。
・鑑賞の活動では、美術作品や文化財などから創造の素晴らしさや、生活を心豊かにする美術の働きを理解する学習を行います。
・作品制作のほか、振り返りレポートや、生徒間で相互評価を行い、作品に対する客観的な視点や相互理解を深める学習活動を行います。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・造形要素（線・形・色・光など）や材料・技法の特性を理解し、適切の活用できる。
・美術の表現や鑑賞において、その働きや特徴を捉える多角的な視点を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
・主題や素材に応じて独自のアイデアを練り、構想を立てる。
・造形的な工夫をしながら作品を制作表現する。
【学びに向かう力、人間性等】
・美術の制作や鑑賞活動に意欲を持って、主体的に取り組んでいる。
・美術を通じて、事故の価値観を働かせ、創造活動を行っている。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	形や色彩、材料や光などの造形的特徴をとらえて主題に沿った表現が行えているか、また、用具を適切に扱い、材料の特性を活かして表現方法を工夫しているかを評価します。	造形的な見方、考え方を働かせて、感じたことや考えたことを創造的に表現できているか、また、他者の作品の良さを理解し、自身の作品への客観的視点が養えているかを評価します。	主体的に創造活動に取り組み、新たな気付きや自分なりの視点を、表現に組み入れながら活動に取り組めているかを評価します

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	授業で扱う「美術」について	【鑑賞】【絵画・彫刻】 ・オリエンテーション 教科書等を鑑賞し、多様な表現形式について学び、「美術Ⅰ」の学習イメージを持つ。 ・クロッキー	a:クロッキーの目的を理解し、鉛筆の特性を生かして表現している。 b: 対象を見つめて、形体の特徴をつかみ、画面の構成などを工夫している c: 美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習に意欲を高めている	ノート 作品	ノート	ノート
	身近なものを描く	【絵画・彫刻】 1グレースケール 鉛筆の持つ特有の風合いと描き味を知り、表現できる濃淡の幅について学ぶ。 2立体の光と影 鉛筆を用いて基礎的な幾何形体に濃淡をつけることで、立体感を出す技法について学ぶ。	a: 幾何形体を立体的に描くために必要な材料や用具について理解するとともに、それらの特性を生かして表現方法を工夫し、陰影や立体感を表現している。 b: 表現形式や素材の特性を生かし、扱い方を工夫して表現の構想を練っている。 c: 紙と鉛筆という素材によって生まれる多様な表現に関心を持ち、立体の表現に主体的に取り組もうとしている。	プリント プリント	作品 作品	レポート レポート
		【絵画・彫刻】【鑑賞】 1身近なものを描く 前時に学習した基礎的な立体の描き方を用いて、物体の構造を観察し、鉛筆デッサンで表現する。 2生徒作品の鑑賞 完成した作品を掲示してお互いに鑑賞し、良いところや工夫を見つける。	a: デッサンを行うために必要な材料や用具について理解するとともに、それらの特性を生かして表現方法を工夫し、陰影や立体感を表現している。 b: 表現形式や素材の特性を生かし、素材の扱い方を工夫して表現の構想を練っている。 c: 物体の構造をよく観察し、デッサンとして表現することに主体的に取り組もうとしている。	プリント	作品	レポート

2学期	デザイン　人に伝える形	【デザイン】【鑑賞】 伝達の効果を考えてイラストレーションや文字を検討し、配置や配色を工夫してポスターを構成する。 1ポスターの鑑賞 2アイデアスケッチ テーマに沿ったデザインを各自で考える。 (アイデアスケッチ相互鑑賞) 3制作 水彩絵の具、その他必要な素材等を用いて、制作を行う。 4相互鑑賞・プレゼンテーション(全体)	a: 他者に情報を伝達するという目的や意図に応じて、材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫している。コンセプトや計画を基に制作している。 b: コンセプトを考え、デザインの目的、機能、美しさなどから主題を生成し、描画材や表現形式の特性、形や色彩などの働きを考えて表現の構想を練っている。 c: 生活や社会を心豊かにする美術の働きやデザインの目的や条件、機能や用途などを考えて、文化祭のポスターを表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。	プリント	作品	レポート
	日本画の文化　伝統に学ぶ	【絵画】【鑑賞】 日本の伝統的な芸術作品について学び、自ら制作することで理解を深める。 1鑑賞 2模写制作 参考作品を丁寧に観察し模写する事で水墨の基本を学ぶ 3作品制作 テーマを決めて、学んだ技法を使用してオリジナルの作品を作る 相互鑑賞	a: 日本の伝統的な画材の特性を理解し、意図に応じて材料や用具の特性を生かした表現方法を工夫することが出来ている。オリジナル作品の制作背景や作者の意図を追及して制作している。 b: テーマを基に感性や想像力を働かせて、自己の内面を見つめて感じ取ったことや考えたことから主題を生成し、表現形式の特性を生かして、形体、色彩、構成などを工夫して創造的な表現の構想を練っている。 c: テーマをもとに自己の内面を見つめて表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。	習作	作品	レポート

3学期	存在に迫るまねびのこころ	【絵画･彫刻】【鑑賞】 1主題の設定 モチーフを観察し作りたい形と作品の主題を考える 2構想を練る スケッチをもとに完成イメージを広げ、材料をどの様に削りだすか構想を練る 3制作 発想や構想に応じて材料や用具の特性を活かし、表現方法を創意工夫する 製作途中で相互鑑賞を行い、意見交換を参考に自分の表現や主題を明確にする 4鑑賞 お互いの完成作品を鑑賞し合い、作者の心情や表現の工夫などについて共有する	a:(知識) 材料の木材の性質や造形的特徴を踏まえて、モチーフの形や色彩を表現するための流れを理解できているか (技能) 意図に応じて材料や用具の特性を活かすとともに表現方法を工夫できているか。 b:(発想や構想) 造形的な見方、考え方お働かせて感じ取ったことや考えたことを創造的に表現できているか。 (鑑賞) 他の生徒の作品から見えてくるよさを感じ取り、表現への理化を深めることが出来ているか c:モチーフを観察してスケッチを行い、創造的な表現に結び付けられたか。鑑賞や振り返りシートで主体性を持って意見交換や鑑賞に取り組むことが出来たか	スケッチ 制作途中の作品	作品	レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度